

工業系高校人材育成コンソーシアム千葉  
会 長 小 野 祐 司

梅花の候、時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

日頃より、本事業に格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年も恒例の生徒研究発表会を開催する運びとなりました。今回は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、「動画撮影によるホームページ掲載による開催」と致しました。

各校の生徒の皆さん、ご指導頂いた先生方におかれましては、授業時間数の少ない中、研究に対して真摯に取り組むとともに、あらゆる智恵を発揮し、限られた時間の中で、分かりやすい発表をするよい機会として頂いたことに心から謝辞を送りたいと思います。

研究の背景・目的などを整理するとき、研究の重要性を再確認する人もいたと思います。また逆に、他の研究者の、新しい研究発表について議論する人もいたかと思われまふ。この議論により、日々の研究を振り返ることは出来たでしょうか。「研究とは、巨人の肩を借りる」と言われます。その巨人を見つけられたでしょうか？

科学者マイケル・ファラデー（ Michael Faraday）は

「ロウソクは自分自身で輝くから、どんな大きなダイヤモンドよりも美しい。」と話しています。

自然界では、自らの輝きで他を照らしていくチャレンジがあつてこそ、他からの光で輝かせてもらえるものです。これまでと違うものに出会ったとき、皆さんは、

「何が原因だろうか。何でそんなことがおこるのだろうか」と疑問をもつことを、いつでも忘れないでもらいたい。また、ひたすら自らの感性を磨き、大切な人に希望と期待、愛と幸せを届けられるようになっていく人になることを望みます。

最後になりましたが、今回の研究発表会を開催するにあたり、大会の運営や準備で、お力添えをいただきました、「内外マリアブル株式会社」様をはじめとする関係皆様に深く感謝を申し上げ、挨拶とさせていただきます。

一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束・終息と、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。